

送 辞

令和元年度作新学院大学学位記授与式にあたり、在学生を代表し心よりお祝いと感謝の言葉を申し上げます。

梅の花が咲き桜もほころび始め、頬を伝う風にも暖かさを感じられる季節になりました。今日の佳日に、めでたくご卒業の日を迎えられました皆様、誠におめでとうございます。在学生一同、心よりお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、作新学院大学に入学してから本日まで、実に多くの出会いがあり、そして様々な経験をされたことと思います。卒業というこの旅立ちの日に、懐かしく思い返されていることでしょう。これから始まる新生活に、期待と不安を抱えながら臨んだ入学式。日々の講義やゼミナール、実習や留学を通じて得た知識と技術。仲間と懸命に取り組んだ部やサークル活動、そしてインターンシップなどの課外活動。これら全ては皆様にとって、何ものにも代えがたい宝物になったことでしょう。皆様が獲得したこうした宝は、今後の人生における糧となり、そして未来へと羽ばたく強い翼になることと確信しております。

皆様は私達在学生にとって、とても大きな存在でありました。私達をここまで導いてくださった皆様は、私達の憧れであり誇りでありました。私達はこれまで皆様にたくさん甘え、頼ってばかりいたことを反省しなければなりません。そしてこれからは私達在学生が皆様のように後輩たちを導き尊敬される存在になるべく精進してまいりたいと思います。

卒業生の皆様は明日から、多様に変化する現代社会へと歩を進めていらっしゃいます。その道程には、これまでに経験したことのないような苦難や試練が待ち受けているかもしれません。しかし本学において築いた教職員の皆様との信頼関係や多くの仲間たちと育んだ友情、そして何よりも講義や演習によって修得した高度な知識や技術といった暖かく明るい光が皆様の進むべき道を照らしてくれると私達は強く信じております。

名残惜しい限りですが、皆様と共に学生として過ごせる日も今日が最後となりました。私達にくださったこれまでのご恩情に、在学生を代表し改めまして厚くお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。今後における皆様のさらなるご活躍とご多幸をお祈りいたしまして、送辞の言葉とさせていただきます。



令和二年三月十五日 作新学院大学
在学生代表 吉川泉水